

奄美野生生物保護センター
ニュースレター

奄美の風だより



奄美大島では1カ月以上もまとまった雨が降りませんでした。8月中旬にやっと待ちに待った雨が降りました！雨が降ったり止んだり、じめっとした空気。不快指数は高いですが、奄美らしい天気に戻り安心しました。台風も近くを通っただけですが、少しは海水温が下がったでしょうか。この夏の異常気象は、生きものたちにどのような影響を与えるのでしょうか。秋は例年通りの気候になってほしいものです。

さて秋は実りの季節ですが、今年のドングリの状況はどうなっているのでしょうか。昨年と一昨年は不作でした。今年の夏は高温少雨だったので、また少ないのでしょうか？少なければ山の生きものたちはどうなるのか、イノシシの被害がまた増えるのか、といろいろな心配があります。しかし、一般的に樹木は、高温で乾燥した夏の翌年は、開花・結実が多くなるそうです。その理由は、高温や乾燥が花を作る組織を活性化させるためだそうです。なるほど、一概に「高温少雨」イコール「植物にマイナス」の影響ではないのですね。しかし、花がたくさん咲いても花粉を飛ばす時期に雨が多いと飛散量が減り、その結果、結実量が減るとのこと。なかなか難しい・・・、やはり「実り」は簡単なことではないのですね。今年はどうなるのでしょうか。職員の話では、シイの実は見えたが、中身が入っているかは分からないとのこと。人にとっても生きものたちにとっても実りの秋になってほしいものです。

(吉田)



今の時期に見られる動植物



イタジイ (実)

奄美大島以南に分布。本州などに生育するスタジイの地理的亜種。葉の裏が白っぽい赤茶色をしている。



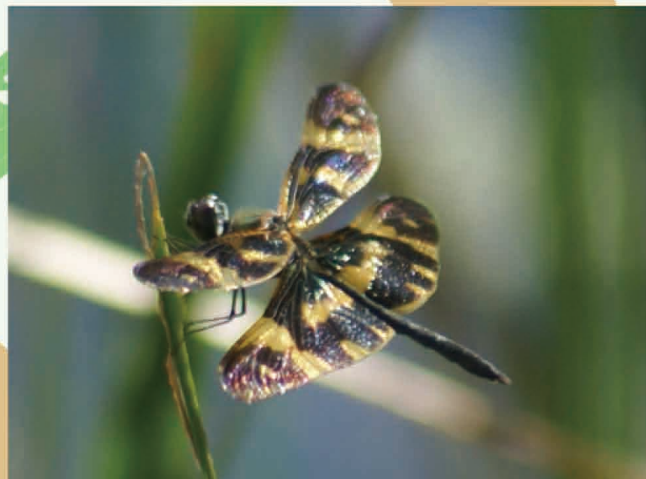
シロシャクジョウ

山地の林内に生える腐生植物。6cm弱とても小さい。同じ仲間、青紫色をしたルリシャクジョウもある。



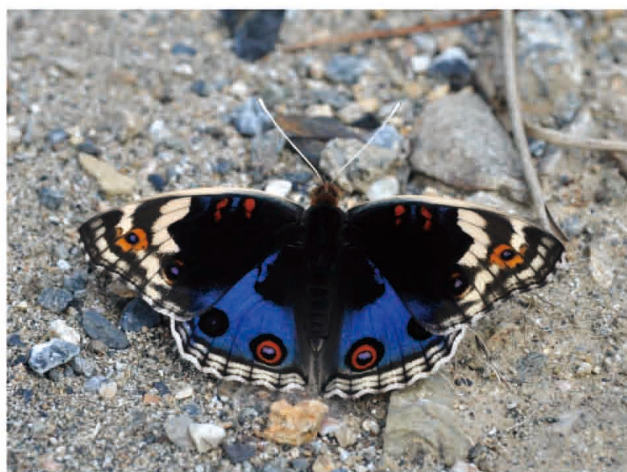
ヒメスズメバチ

アシナガバチの仲間を専門に襲い、その幼虫や蛹を略奪し、自分たちの幼虫への餌とする。奄美に棲むスズメバチの仲間では最も大きい。



オキナワチョウトンボ

奄美大島・喜界島以南に分布。植生の多い池沼などに生息する。羽がベッコウ甲の模様に似ているためベッコウトンボとも呼ばれる。



今季の一枚 「アオタテハモドキ」

日本では近年、チョウの北上が多く確認されています。そのうちのひとつアオタテハモドキは、八重山諸島では定着していて、奄美群島でも見ることができますが、定着はしていないそうです。定着していないものは、台風などで北上してきますが、今年は台風が少ないせいなのか、奄美大島ではあまり見ることはありません。他の島々ではどうでしょうか？

日本で見る事が出来ない美しいチョウを普通に見られるのは嬉しいことですが、その原因が温暖化による種類もいるということなので、心から喜ぶことが出来ません。チョウが教えてくれる、地球の変化。見逃さずに注視していくことが大事なのだと思います。



奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



今回は
宇検村
です



焼内湾全景

宇検村は奄美大島の中南西部西岸に位置し、深い入り江の焼内湾に 14 の集落が形成され、奄美群島最高峰の湯湾岳 694mなど大自然に囲まれた村です。

宇検村の木

【イジュ】



耐シロアリ性に強く、昔から建築用材として重宝され使われてきた。穀物を収納する高倉の柱などとしてイジュの木が使用されていた。



おすすめ

観光名所「湯湾岳 / 屋鈍海岸 / アランガチの滝」



湯湾岳



湯湾岳登山道

【湯湾岳】

湯湾岳一帯は、亜熱帯広葉樹の原生林で、イタジイ、アマミカタバミ、アマミスミシ、アマミヒイラギモチなどの固有な植物の宝庫となっています。また、植物だけでなく動物もこの一帯に住み、アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、トゲネズミ、ルリカケス、アカヒゲなどが国の天然記念物に指定されています。奄美群島世界自然遺産登録にむけ、このような大自然を今後

も大切に守っていかねばいけません。



屋鈍海岸

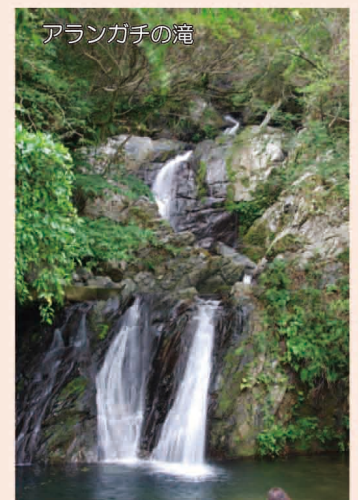
【屋鈍海岸】

枝手久島（無人島）を目の前にエメラルドグリーン的大海と真っ白な砂浜が広がり、海中のサンゴ礁の間には色鮮やかな熱帯魚たちが群れをなして泳いでいるのを見ることができます。Googleを片手にスノーケリングを体験してみたいかですか？トイレ・シャワー施設は完備され

ています。また、宇検村湯湾より車で約 35 分と少し遠く感じますが、行ってみる価値は十分にあります。

【アランガチの滝】

湯湾岳から流れる豊富な水と深い山々が存在し、滝の落差はおおよそ 30m。暑い夏でも爽やかな風が流れる場所で、緑の木々の合間から流れ落ちる水しぶきは圧巻です。「ケンムン」が棲むと言われる立派なガジュマルの木も近くにあり大自然のエネルギーを感じられます。



アランガチの滝

(宇検村 企画課)

いきものいる風景 ~ 交通事故について ~

奄美に生息する野生動物たちは、人間の活動によるさまざまな脅威にさらされています。今回は、野生動物たちにおこっている問題の一つである「交通事故」を特集したいと思います。

交通事故にあう動物たち

道路は、山の中などともとも野生動物が生活する場所にも多く作られています。そのような場所では、交通事故にあう危険は人だけではなく野生動物たちも一緒です。これまでの例を見ると、交通事故は陸で生きるあらゆる野生動物たちに共通の問題であることが分かります。



ポイント 交通事故の他に、野生動物を脅かす問題はどんなものがあるのでしょうか？
 主な問題として、森林伐採、外来生物、乱獲などが挙げられます。野生動物を脅かす原因のほとんどに人が関わっています。私たち一人一人が自然に対する意識を変えていくことが、問題解決のための「第一歩」と言えます。

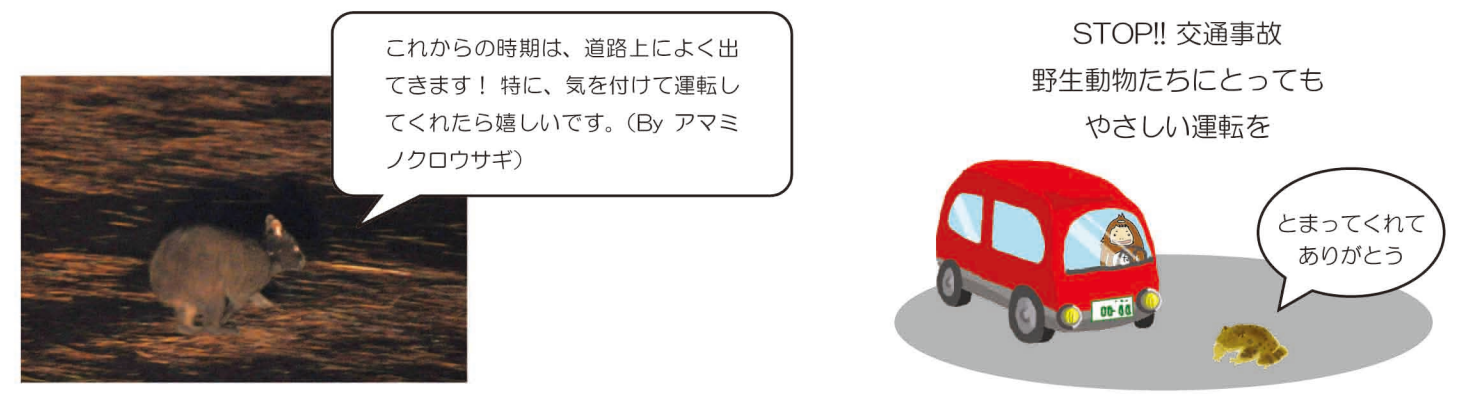


交通事故を減らそう

まず、道路は野生動物も利用するということを知りましょう。野生動物にとっても道路は生活の場の一つです。特に、視界の悪い夜間から早朝は気を付けましょう。



山道は人が利用することは少ないので、少し安心して運転できるかもしれませんが、山道だからこそ、野生動物が多く利用します。これからは、野生動物にもやさしい運転を心掛けてみませんか？



道路看板

野生動物の横断を注意する看板が各島にあります。看板がある所は、特に注意して運転しましょう。



写真提供：奄美マングースマスターズ、高美喜男



報告

奄美自然ふれあい行事

実施報告

毎年、夏休みに小中学生を対象に実施しています

① 自然カメラマンになろう！

とき：7月29日（月）
場所：奄美市住用町川内川
カメラを使った川の観察会を実施しました。カメラを使うことにより、よりじっくりと生きものや風景などを観察することが出来ました。

② ゆりむんで風鈴を作ろう！

とき：8月5日（月）
場所：奄美野生生物保護センター
流木やサンゴ、貝殻などを使って風鈴を作りました。サンゴ同士が当たるととてもきれいな音になり、子どもたちは嬉しそうでした。

③ ムシの観察会 in フォレストポリス

とき：8月12日（月）
場所：大和村 奄美フォレストポリス
湿地、水辺、林などでムシの観察をしました。場所によって見られるムシは違い、子どもたちは興味津々でした。

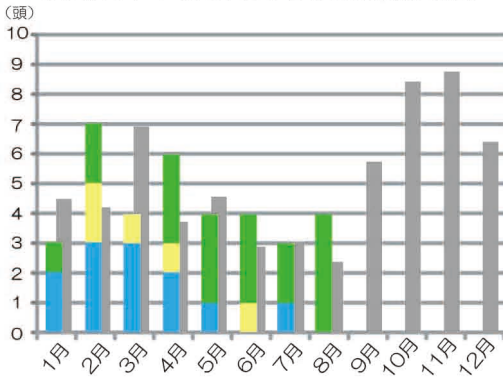


アマミノクロウサギ死体確認数



奄美に住む動物たちのために、あなたができること

(2013年 アマミノクロウサギの死体確認数と死因)



■ 死因不明・その他 ■ ノイヌ・ノネコ
■ 交通事故 ■ 2007~12年の平均

※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。

安全運転

特に夜間の林道では20km/h以下で走行しましょう。

犬・ねこの適正飼育

野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べてしまうこともあります。

🚫 捨てない

最後まで責任をもって飼いましょう。

🚫 不妊・去勢手術

繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないことと、ペットの健康を守ることになります。

🚫 マイクロチップ

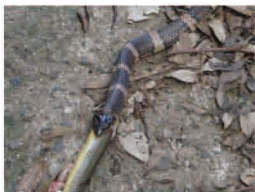
ペットの確実な身元証明になります。



🐶 犬・ねこに関するお知らせ 🐱

ワクチンには、狂犬病ワクチンだけではなく、犬猫をさまざまな病気から守る混合ワクチンというものがあります。犬ねこがかかる病気はさまざまありますが、ワクチンによって防げる場合があります。また、病気になってしまっても軽いですので、健康に過ごせる可能性を高めることができます。年に1回打つことが推奨されています。一度動物病院へ行って獣医師さんから話を聞いてみてはいかがでしょうか。

いきものおもしろ写真館



アカマタ

なんと、リュウキュウアオヘビを飲み込んでいたアカマタです。自分と同じサイズのものをどう飲み込むのでしょうか。最終的にどうなったかは分かりませんが、とても衝撃的な写真でした。

編集後記



台風15号が過ぎると、冬鳥や渡り鳥が見られるようになりました。センター周辺では、サギ類、セイタカシギ、ツメナガセキレイなどが見られました。これからたくさんの鳥が訪れるにぎやかな季節となりますね。今から楽しみです。